



5月21日、和歌山市NPOボランティアサロンを会場に、わかやま環境ネットワーク第8回総会を開催しました。

当日選出された松下靖彦議長のもと、2010年度事業総括、同決算、2011年度事業方針、同予算等の議案が審議され、原案通り可決しました。

事業総括では、わかやま環境フォーラム2010の成功や、初めて取り組んだうちエコ診断での実績などが評価される一方、会員拡大と財政基盤の強化が課題として示されています。

また、今年度の事業方針では、地球温暖化防止活動推進センターとして家庭・事業所等のCO2削減に取り組むとともに、東日本大震災という事態を受けて、エネルギー自立化促進に積極的に取り組むことが決議されました。



## 第8回通常総会を開催



### 中島敦司氏（和歌山大学教授）が講演

総会のあと、中島敦司・和歌山大学教授の自然エネルギーに関する講演がありました。

氏は、地域の人にエネルギーを作らせないで買わせる今のような政策では地域が貧乏になっていくのは当然として、豊かな地域づくりのためにエネルギーの地産地消は必要、と強調しました。

そして、自ら学生や地域住民とともに取り組んでいる「みんな笑顔の熊野プロジェクト」（略称：ミンクマ）での小水力発電設置などの活動を紹介し、市民型自然エネルギーの普及活動、普及の可能性と今後の課題について話しました。

## 2011年度の実施事業

### ① エネルギー自立化促進事業

自然エネルギーによる地域の自立化を促進するために、県内の産・官・学・市民の協働関係を構築し、その連携の力で、木質バイオマスエネルギー活用事業及び市民小水力発電の設置事業を推進する。（環境省及び県の事業を活用予定）

### ② うちエコ診断・相談事業（環境省委託事業）

地球温暖化防止活動推進員等を本事業の実施に必要な知識を有する「診断員」として育成し、希望する家庭・事業所等への「診断員」の派遣や相談窓口の開設等を通じて、家庭から排出される温室効果ガスの削減対策に関して、必要な情報の提供を行う。（委託事業が採択された場合）

### ③ エコチャレンジ事業（和歌山県委託事業）

県民各家庭で環境家計簿記入を通じて削減した成果を集計し顕彰する。また、エコチャレンジ講習会に推進員等の講師を派遣する。

### ④ 地域協議会等支援事業（和歌山県委託事業）

県内の地域協議会またはそれに準ずる団体が実施する啓発イベント・研修会等の開催について助言し、財政的に支援する。適用団体6団体。

### ⑤ 和歌山市エコライフ促進事業（和歌山市委託事業）

ふるさと雇用を活用して、環境指導員5名を育成し、和歌山市内で環境学習会や啓発活動を進める。環境学習会50回、学校出前授業12回、イベント等への出展12回を目標とする。また啓発活動に利用するパンフレット等を作成する。3カ年事業の最終年度となる。（次ページに続く）

⑥ 地球温暖化防止活動推進員支援事業

・ 紀州推進員の会への支援。推進員養成研修の実施(自治体、地域協議会、地域連絡会と協力して随時～一部和歌山県委託事業)。・ 推進員対象の情報誌の発行(年4回)。

⑦ 和歌山環境検定事業(自主事業)

公式テキストを発刊。第4回和歌山環境検定の実施。

⑧ 低炭素地域づくり研究事業(自主事業)

研究者・市民活動家を交えた勉強会・研究会を催し、中長期的な低炭素地域づくりヴィジョンを策定、公表する。

⑨ 対外活動及びその他の活動

・ 地球温暖化防止全国ネット、温暖化防止ネットワーク関西など全国・広域団体に参画し全国的活動を推進する。  
・ 県内の環境活動に携わる自治体・団体・個人・企業などの連携を図る。  
・ 会報「ういねっと」の発行(年5回)、メールマガジンの発行(月2回)、メーリングリストの運営、学習会の開催(隔月)、講演会・セミナー等の開催

⑩ あらゆる機会を通じ会員拡大・寄附を呼びかける。

小野正治氏の理事辞任に伴う理事の補充

役職	氏名	所属団体等
代表理事	重栖 隆	NPO和歌山有機認証協会
副代表理事	玉井 済夫	(公財)天神崎の自然を大切にする会
副代表理事	石橋 幸四郎	和歌山県中小企業家同友会
理事	佐藤 俊	NPOはしもと里山保全アクションチーム
理事	古守 一品	NPO花つぼみ
理事	園井 信雄	紀州大地の会
理事	宗 眞紀子	和歌山市婦人団体連絡協議会
理事	金原 徹雄	金原法律事務所
理事	目 祐二郎 <small>新</small>	NPOわかやま環境ネットワーク
理事 (事務局長)	前岡 正男	NPOわかやま環境ネットワーク
監事	堀 禎宏	紀州村
監事	竹家 弘美	和歌山市婦人団体連絡協議会

原発を過去の遺物とする地域づくりへ

いま、この国が歴史的な分水嶺に立っていることを、多くの人を実感していることだろう。その分水嶺で今後どちらに向かうか選択を迫られている課題は、この国の社会や経済のありようから私たちの暮らし方、さらには幸せ観に至るまで実に幅広いが、わけてもエネルギーの選択は当面する最大の焦点となっている。

福島第一原発に並ぶ神殿の如き原子炉が爆発した瞬間、これまで政府や財界が振りまいてきた安全神話は、おびただしい放射能とともに吹き飛んだ。その後の当事者たちの狼狽ぶりと無策を見せつけられるに及んで技術立国の厚化粧ははげ落ち、それに代わって無能にして無責任きままりない原子力村の醜悪な素顔が露わになったのだった。

危険な原子力がこんなにもお粗末な体制に委ねられていたことを知り、また今この瞬間にも漏れ続ける放射能の脅威に晒され、原発への世論は徐々に変わりつつある。だが、これほどの深刻な事態に遭遇しながら、なおドイツや北欧のように脱原発へと世論が雪崩を打たないのは、原発後のエネルギーイメージが確信的に共有できていないからだ。

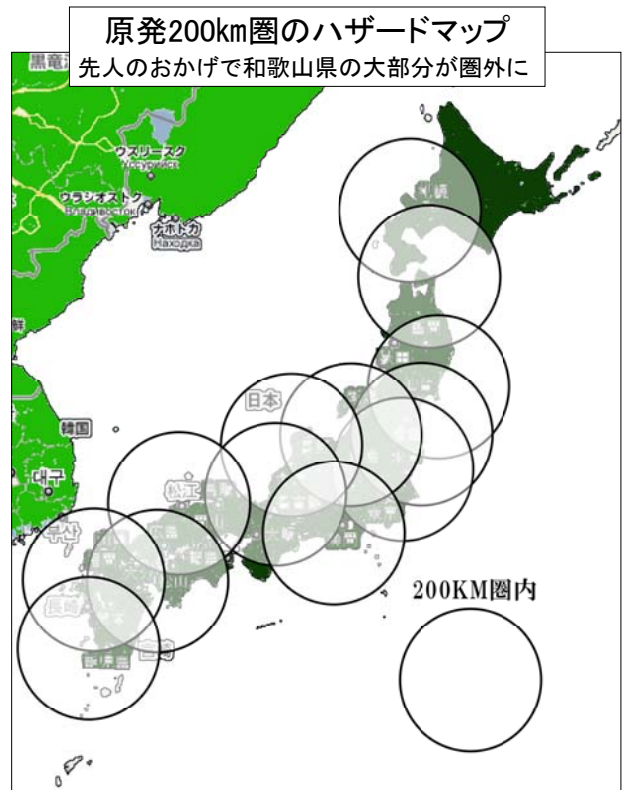
それには、環境団体の責任も大きいことを認めねばならない。我々は機会あるごとに省エネや自然エネルギーの可能性を説いてきたが、それらの多くは絵に描いた餅に過ぎなかった。もちろん資金力や立地の制約もあつてのことだが、原子力に代わるエネルギー供給の姿を、世論を変えられるほど目に見える形で示すことはできなかった。

分水嶺ではいま、エネルギーの未来をめぐる激しい応酬が繰り返されている。だが、ここで原発と縁を切る方向を選択できなければ、原発事故で被曝した人々、故郷を追われ仕事を失った人々、そして

放射能に汚染された大地や海や生態系に顔向けができないではないか。いまこの分水嶺において、環境団体もまた正念場に立たされている。



和歌山には、日高、那智勝浦・古座、日置川と三波にわたり、それこそ津波のように押し寄せた原発を命がけの住民闘争でことごとく押し返した輝かしい歴史がある。その歴史をさらに前へ、次にめざすは原発を過去の遺物とするエネルギー自立を地域ぐるみで実現することだ。わかやま環境ネットワークに課せられた使命は大きく、またやりがいに満ちている。(重栖 隆)





このコーナーはわかやま環境ネットワークに参加する団体や企業、個人の活動記録と今後の展望を紹介します。

### 株式会社 ウチハタ

「ユニフォームのウチハタ」は、県下を中心に、一般企業から学校、消防、警察など各種公共機関まであらゆる制服、指定服に対応するユニフォームの製造販売会社です。環境保全を考えた製品作りで、環境循環社会のための積極的な取り組み、継続的な努力をされている株式会社ウチハタの社長、内畑雅年さんにその活動についてお話を伺いました。



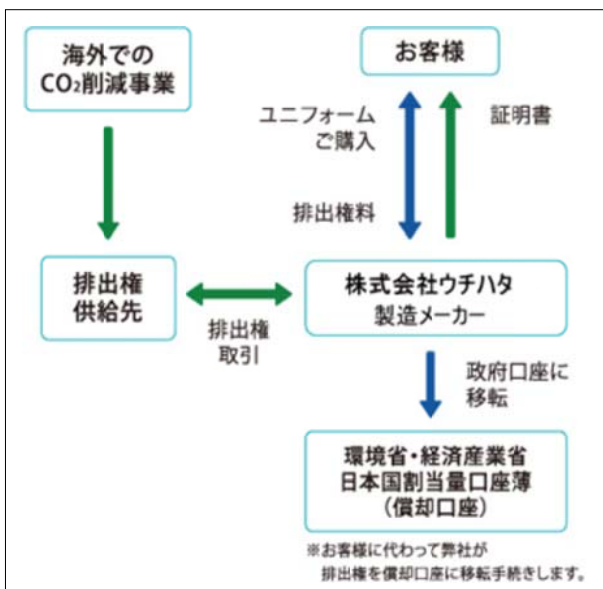
#### カーボンオフセットユニフォーム

ウチハタではエコマーク素材の採用はもちろん、1998年にグリーン購入ネットワークに参加し、ペットボトルからできる再生繊維を使ったリサイクルユニフォームの製造販売に着手。その使い古しを回収して指定の工場へ送り、モップなどにリサイクルするマテリアルリサイクルを行っています。近年になって、「お客様自身の環境メリットも追求しよう」と、カーボンオフセットに着目、「カーボンオフセットユニフォーム」の販売をしています。

#### 1着あたり5kgの温室効果ガス削減に貢献

ウチハタが販売するカーボンオフセットユニフォームに付けられる排出権（クレジット）は、ユニフォームメーカーが手がけるプロジェクトのクリーン開発メカニズム（CDM）により調達されるクレジット（CER）です。カーボンオフセットユニフォームを購入すると、1着あたり5kgの温室効果ガス削減に貢献できます。

#### カーボンオフセットユニフォームのしくみ



#### 持続可能な地域づくりへ

#### 「WIN WIN」(得と得)の関係を

国内の温室効果ガスは、産業部門からの排出量が最も多く、その削減はあらゆる企業の共通課題です。県下の企業をはじめ多種多様な産業現場にユニフォームを提供するウチハタが、環境にやさしい商品を幅広く提案することにより、地域におけるお客様自身の環境活動を応援できます。このカーボンオフセットユニフォームは、販売側と購入側、そして地域に「WIN WIN」(得と得)の関係をつくる注目すべき商品です。また、ウチハタは、「わかやま環境フォーラム2010」に出展するなど、地域の環境保全活動のネットワークにも積極的に参加し、持続可能な地域づくりに努力しています。

#### できることから 夢をもって

「最初是可以ることからはじめよう」と環境活動を開始。「休憩時間は照明を消す」「コピーは両面を原則に」、「夏場の冷房は、28℃といたいところですが、お客様の快適さをということで26～27℃にしています」。和歌山県から「エコオフィス」に認定され、地道な努力をしています。



「わかやま環境フォーラム2010」にブース出展

社長室の壁には「夢 (VISION) サイクル」という張り紙がある。「夢のある者は希望がある」→「希望がある者は目標がある」→「…計画」→「…行動」→「…実績」→「…反省」→「…進歩」→「…夢」→「…希望」。

夢のある企業活動に「環境」をしっかりと位置づけて、今後とも活躍を期待します。(文責：事務局)

株式会社 ウチハタ

和歌山市毛草屋丁32

電話 073 - 424-5366 E-mail info@uchihata.co.jp



雨の季節になりました。改めて、東日本大震災で犠牲になられた大勢の方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

未曾有の天災と福島第一原発事故から早3ヶ月が経とうとしていますが、これまでの日々、100%心の晴れる日はありませんでした。それは、日本国中みな同じ気持ちでしょう。

そんな中で年度明けを迎えた事務局では、「2011年度事業方針」の通り、今年度の事業内容が未だ確定せず、局員の胸の内には、さらに霞がかかったような感じです。

がっ！そんなことで私たちの「志」は壊れません！とにかく、いつも「今、何をすべきか？」と智慧を絞っています。そして、いつも「前向きに、やれることをやっていくのみ！」という結論に至るのです。ですから、次号では、きっと良いお知らせができると思います。（\*祈\*）

私たちは、幸運にも今回の大災難を免れました。これから先、どんなことが起きるのか誰にも分かりませんが、どんなことがあっても、いのちあふれる世界を未来へ繋ぐため、互いに力を合せていきましょう。

**イツチャシシート  
提出締切り**  
**10月31日(月)**  
※7・8・9月分

## ■第4回 近畿大学生物理工学部公開講座

システム生命科学科「身近なものの中のリズム～同期とパターン～」、人間工学科「小さな生き物の優れた能力～マイクロマシンとしてのダニ・ヤモリ・蚊～」  
日時 6月11日(土) 13時～15時30分  
場所 田辺市 ガーデンホテルハナヨ 2階  
定員 100名  
主催・問合せ：近畿大学生物理工学部  
TEL 0736-77-3888

## ■第3回「産消提携倶楽部ふうど」連続交流学習会

～有機農業的暮らし方セミナー～  
テーマ「有機農業って、何？～その意義と認証制度～」  
講師 重栖 隆氏 (NPO有機認証協会事務局長)  
日時 6月18日(土) 15時～17時  
場所 和歌山市NPOボランティアサロン2F  
(一般駐車場はありません。)  
資料代 200円 定員 30名  
主催・問合せ：産消提携倶楽部 ふうど  
TEL 073-421-6545 (和歌山有機認証協会内)

## ■吉野川紀の川しらべ隊

～吉野川紀の川中流域で田んぼの生き物をしらべよう～  
日時 6月26日(日) 13時～16時半  
場所 和歌山県紀の川市北長田地区  
講師 伊藤ふくおさん (昆虫生態写真家)  
古山暁さん (和歌山大学・院)  
木村全邦さん (森と水の源流館) ほか  
対象 小学生以上 (小学生以下は保護者の参加も必要)  
参加費 500円 (保険代等)  
定員 20名 (先着順)  
主催・問合せ・申込先：  
森と水の源流館 (財法人 吉野川紀の川源流物語)  
TEL 0746-52-0888 FAX 0746-52-0388  
E-Mail morimizu@genryuu.or.jp

## エコポイント寄附 ありがとうございます

2009年に始まった「グリーン家電普及促進事業」が、先月末で終了しました。NPOわかやま環境ネットワークは環境寄附団体登録し、昨年度は、寄附総額 933,626円の寄附をお寄せ頂きました。

エコポイント寄附には、エコポイント事務局から登録団体へ均等配分されるものの他に、団体や企業などが、直接寄附先を指定するものがあり、昨年度は、白浜町商工会様、株式会社 松源様、南部川森林組合様より、私どもを寄附先にご指名頂きました。個人からの寄附は、全て非表示となるため、こちらでは把握できませんが、わかやま環境ネットワークをご指名下さったみなさまに、心より感謝を申し上げます。

※ 住宅エコポイントが発行される工事の対象期間が短縮されました。  
→ 2011年7月31日までに着工・着手した新築・リフォーム工事



ういねっと (わかやま環境ネットワーク通信) 第24号 (2011年6月6日発行)

発行：NPOわかやま環境ネットワーク 代表理事 重栖 隆  
〒640-8269 和歌山市小松原通3丁目22 電話 073(432)0234 FAX 073(432)3881  
mail: wenet@vaw.ne.jp http://wenet.info/